

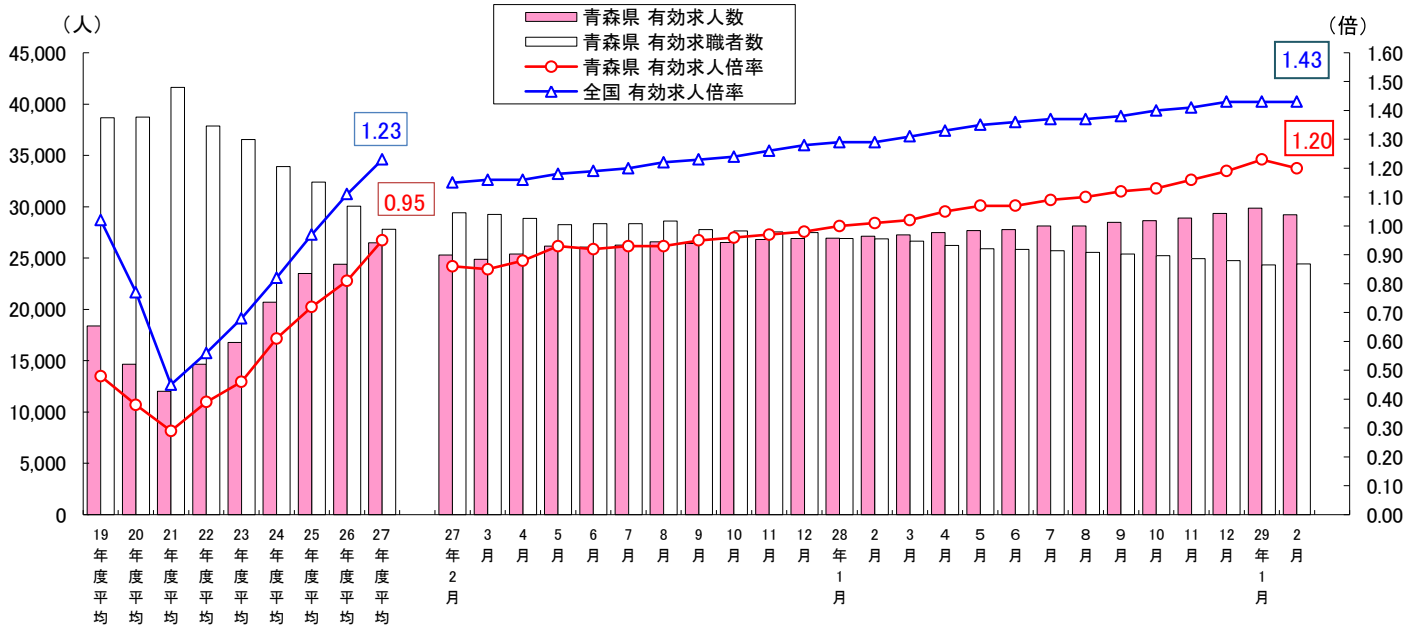
# 最近の雇用情勢について

(平成29年2月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人人数(季節調整値)は前月に比べ2.2%減少し29,209人、有効求職者数(同)は0.4%増加の24,437人で、有効求人倍率(同)は1.20倍となり、前月を0.03ポイント下回った。

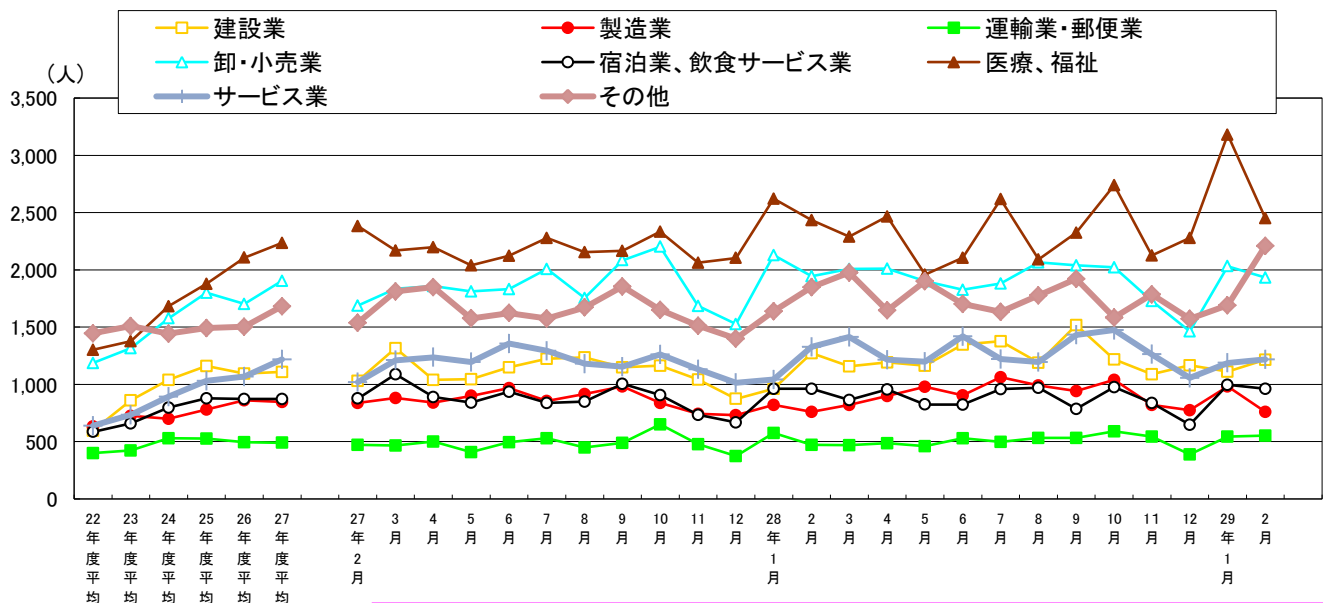


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人人数(原数値)は前年同月比2.5%(276人)増加、前月比3.6%(424人)減少の11,298人。

産業別で前年同月と比較すると、運輸、郵便業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業等で増加し、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、卸売・小売業、不動産、物品賃貸業、サービス業等で減少した。製造業では、パルプ・紙・紙加工品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、情報通信機械器具製造業等で減少した。



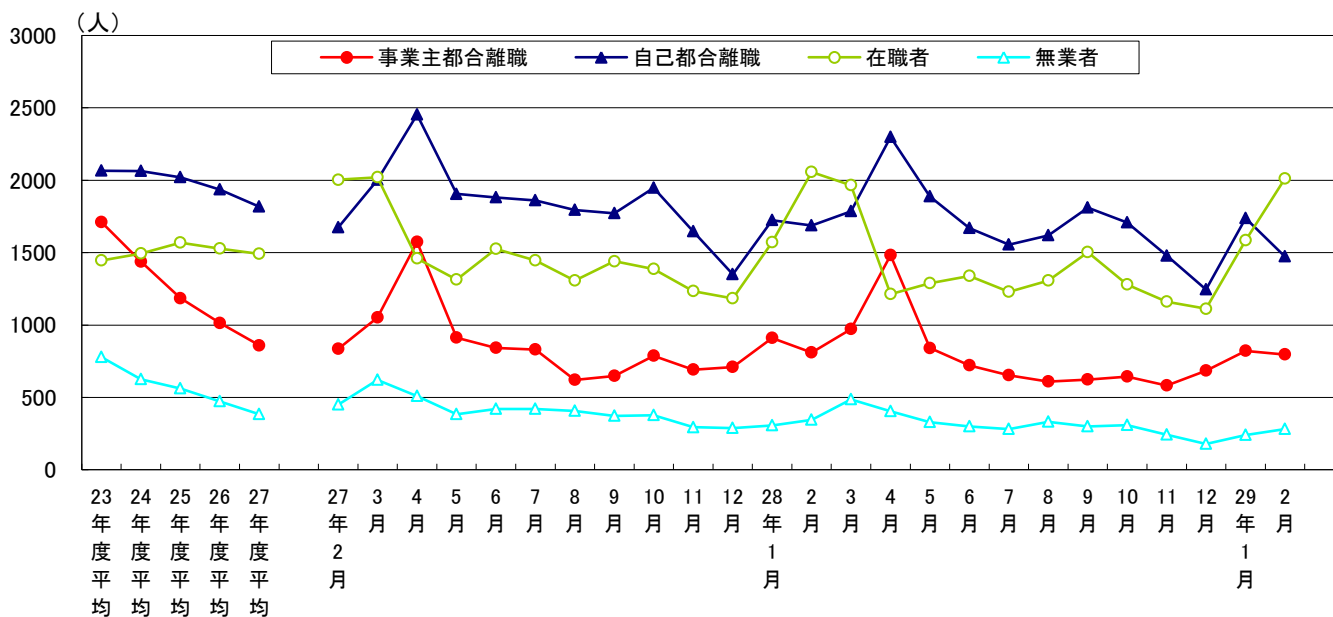
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複

### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数は、前年同月比7.5% (373人)減少、前月比3.3% (149人)増加の4,621人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は2.3% (47人)減少し、離職者は10.1% (262人)減少、無業者は18.6% (64人)の減少となった。

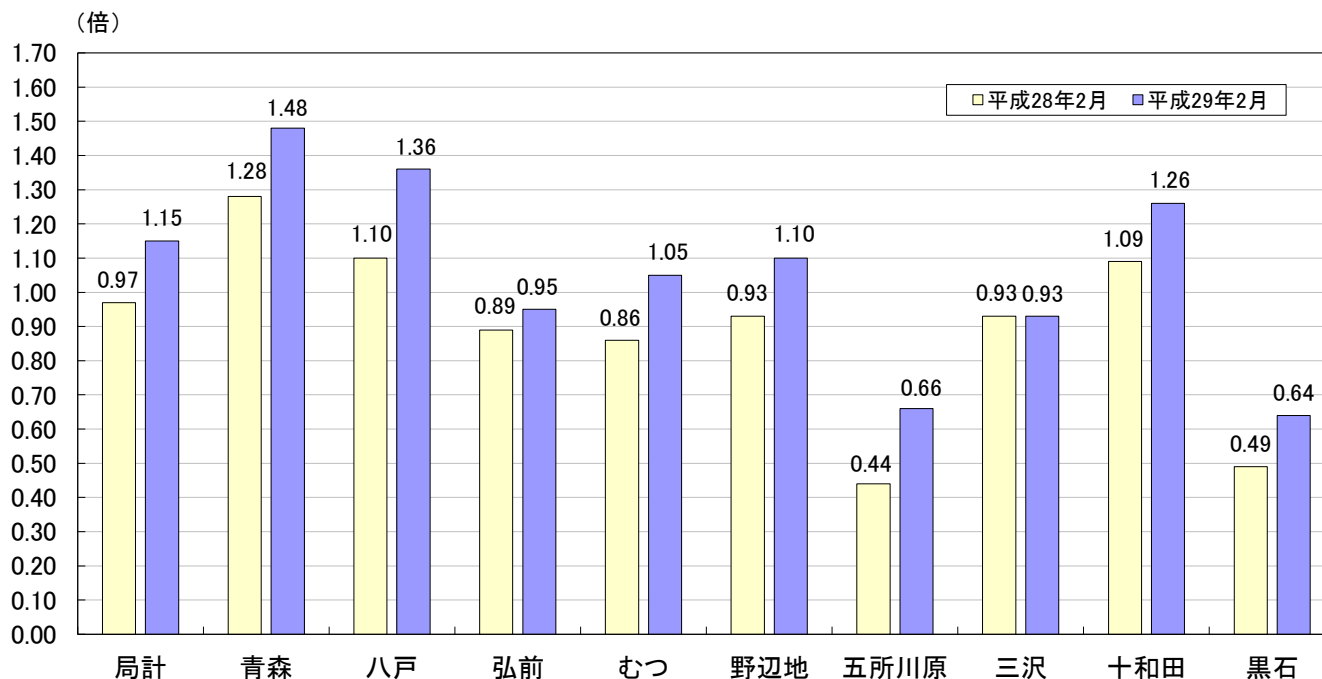
離職理由でみると、事業主都合は1.8% (15人)の減少、自己都合は12.7% (214人)の減少となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.15倍となり、前年同月を0.18ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

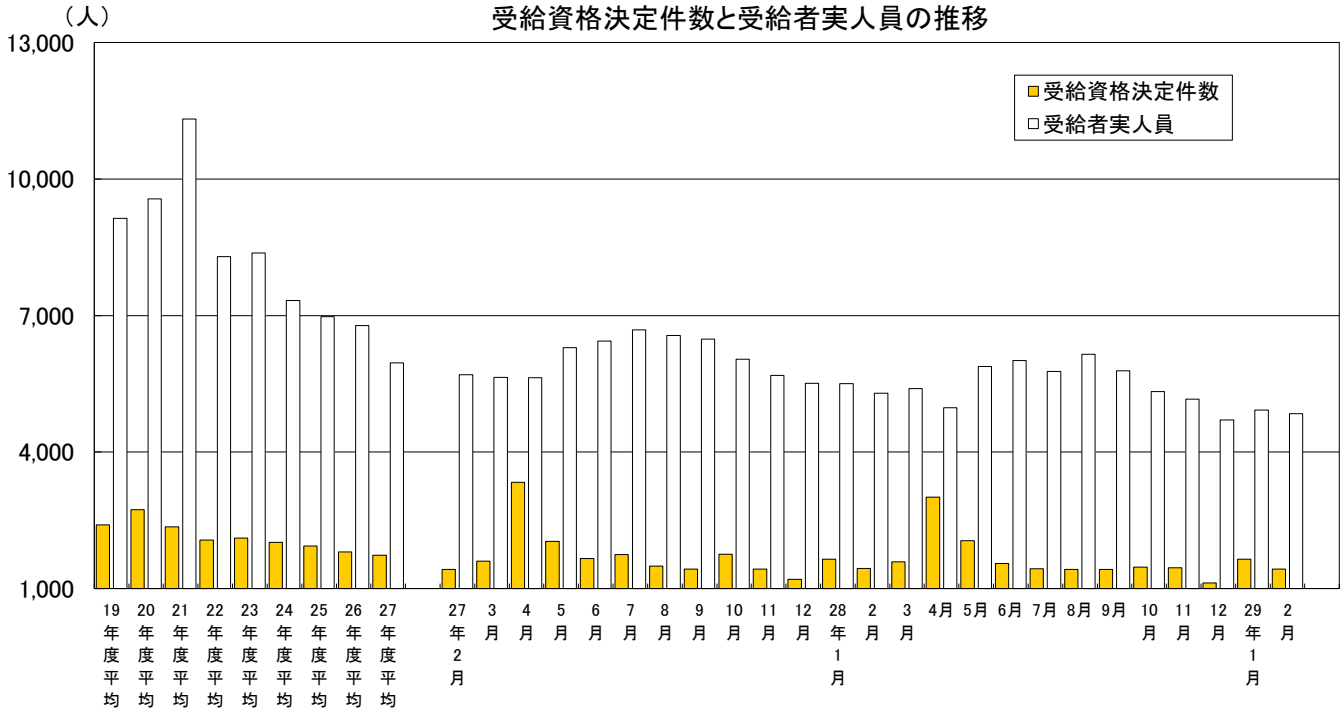


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,483	6,305	5,620	4,729	1,254	1,051	2,293	1,509	1,195	1,527
有効求人数	29,361	9,349	7,628	4,506	1,316	1,157	1,510	1,409	1,509	977

## V 雇用保険の状況

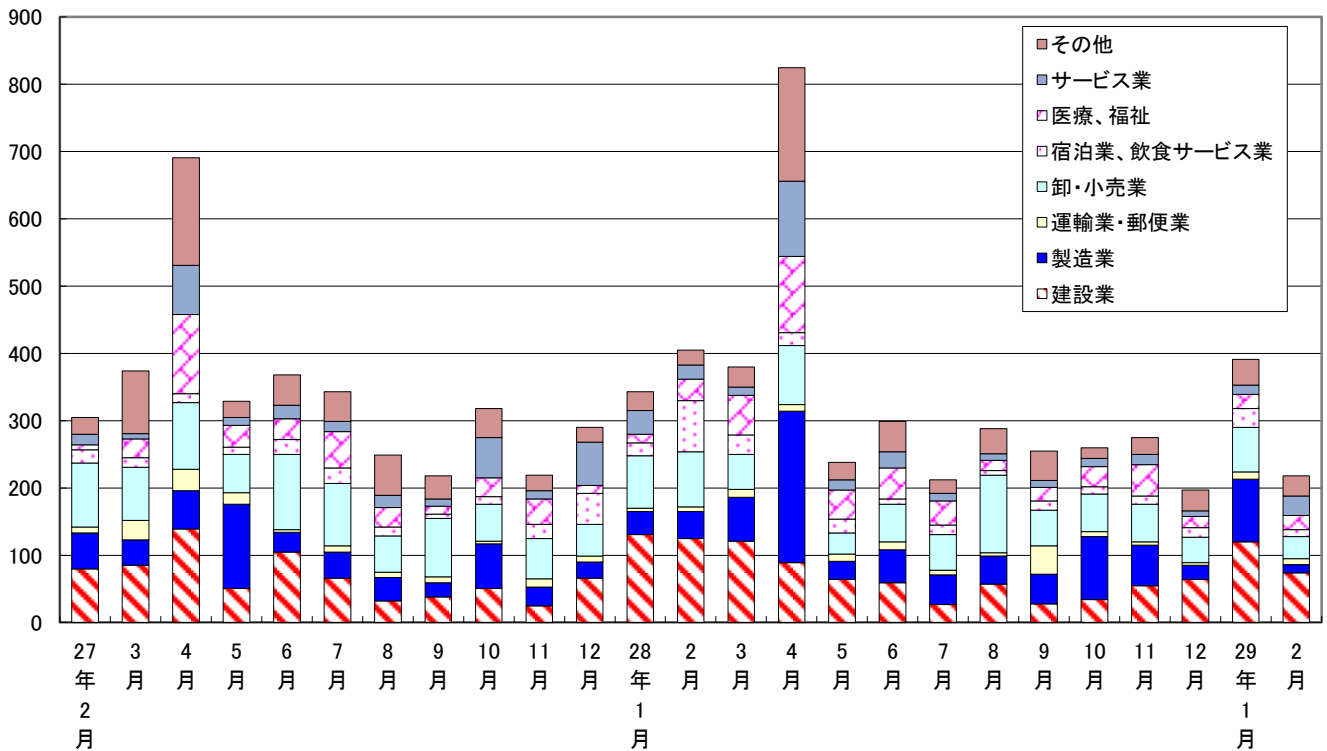
2月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比8.5%（451人）減少、前月比では1.6%（80人）減少の4,846人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.6%（8件）減少、前月よりも13.1%（215件）減少し1,432件となった。

資格喪失者（高齢者、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比46.2%（187人）減少、前月比44.2%（173人）減少の218人となった。



（人）

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。